

諸先生のおたより



○名越ぬい(旧制家庭)
昭和十五年から二十年まで勤務しました。豊かな時代になりました。代りに二部の状態の変わりように驚いて居ります。半世紀前のあの盛んな元氣な生徒さんは今も活躍して居ります。幹事さんは伝統を大切に尽力され、有難うございます。

○飯山鈴子(旧制家庭)

青葉会のご通知有難うございました。おかげ様で年はとりましたが、今のところ変わりなく送って居り、一年に一回担任をした時の生徒とは、クラス会で会うことが出来、昔戦時中のごことを語り合うことが出来、本当に幸に思っています。

○横田ミホ(旧制教学)

明治の最後の生れです。明治生れのお仲間もだんだん少なくなってきました。お蔭様で身のまわりのことは大抵自分で致し、買物など外出も折々致し元氣に暮しております。

○今野善胤(30・10・37・3)

財団法人日本経済教育センター(評議員兼短編映画(経済教育用)製作専門委員として製作に当る。その他資料作成、懐かしい旧知の皆様のお顔を拝見、ご健康を祝福したいと思いますが、手術後(前立腺)まだ快癒せず、薬服用中ですのでや

むなく欠席、皆様によろしく

○杉村親一(54・4・57・3)

六十七才になりました。糖尿病は相変わらずですが、まずまず元氣で私学(浦田女子高、浦田保育専門学校)づとめをつづけています。二十三日は専門学校恒例の文化祭(保育祭)で、毎年のこと乍ら青葉会に欠礼しています。お詫びしながら、ご盛会をお祈りいたします。

○寺師節子(伊藤)(24・5・44・3)

東京都立第六高等学校奉職は昭和二十四年……夕礼での校長講話、鈴木桃太郎先生の計報を新聞で知り八月一日(平成四年)お通夜に伺いました。合掌

○高尾 隆(38・4・48・2)

本年(平成四年)二月をもって、長い教員生活(37年)を終りました。四月より三田高に舞いもどり、三田(全)に席をおき港区民の相談員として、港区教育センターで働いております。

○池田徳明(33・6・38・3)

都立野津田高校々長として多忙な日々ですが、元氣で勤務して居ります。

○福田勝男(43・4・47・3)

定時制高校の廃校など深刻な問題が起ってきました。

○松元文子(旧制家庭科)
私は第六高女初代校長丸山先生の時に勤めて居りました教員で、今月八十七才になりました。始めは「二六高女夜学校」として私立でした。初一年の生徒から教えました。欠席者が多く、八人が九人の時もあり、これをなげきますと、丸山先生は怠けているのではない、精一杯の努力で来られる人が来ているのだとおっしゃいました。学びたい人に学んで貰いたいという丸山先生の熱情を忘れません。人の通りの少ない道ではパンを食べながら学校に急ぐ人もありました。門の近くのジーンチョウゲの枝が折られていると、夜学の生徒だといわれたりして、くやしかったことを忘れません。私はヒルと夜と両方を勤めましたから。今は懐しさと変わりました。私は毎日読み書きの仕事と散歩を楽しんでいます。
(眼の治療中のためご判読下さい)